家庭教育だより

子育て応援団

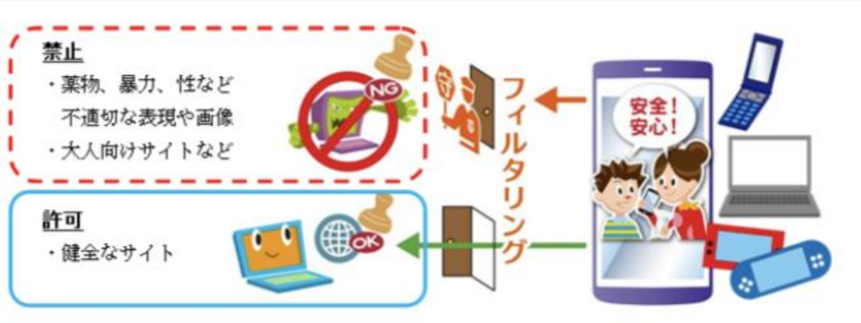
No. 8
令和４年１月
発行：下妻市教育委員会生涯学習課
下妻市鬼怒 230　TEL0296-45-8995

メディアと上手に付き合うには？

　乳幼児期から必要以上にメディア漬けの生活を続けてしまうと、言葉の遅れ、運動不足、睡眠不足、そしてコミュニケーション能力の低下などを生じさせるおそれがあります。乳幼児でも依存のような状態に陥ることがあるので気を付けてあげましょう。
　メディアは上手に利用することが大切です。メディアに子守をさせる状態を避けるためにも、家族でルールを決めて接するようにしましょう。

フィルタリングとは

　保護者の目の届かないところで青少年がインターネットを利用する際に、出会い系サイトやアダルトサイトなど、青少年に不適切な情報の閲覧や利用を制限することができるツールです。
　利用している回線について事業者に申し込んだり、店頭で利用する機器にインストール・設定してもらったり、ご自身でインストール・設定したりすることで、利用することができます。
　機器や OS によっては、機器本体の機能を使用した「機能制限」として提供されている場合もあります。



スマホをおいて親子のスキンシップを大切に！

「ぼくはスマホになりたい」

ぼくの願いはスマートフォンになることだ。ママとパパはスマートフォンが大好きだから。
ママとパパはいつもスマートフォンの事ばかり気にして、僕のことを気にしてくれない。
パパは疲れて帰ってきても、スマートフォンのための時間はあるけど僕のための時間はない。
ママとパパは、大切な仕事をしている時でも電話が鳴ったら、すぐに電話を取る。ぼくが泣いていても、気にかけてはくれないけど・・・。
ママとパパは、ぼくとではなく、スマートフォンで遊ぶ。ママもパパも、電話で話しているときは、ぼくが大切なことを伝えようとしても、決して話を聞いてくれない。
だから、ぼくの願いはスマートフォンになることだ。

　親は深い考えなしに、日常的にスマートフォンやタブレット端末等を使っています。実際に子どもの手を引きながらスマホに夢中になっている母親や、子どもが話しかけているのにスマホのゲームをしている父親などをしばしばみかけます。
　一緒にいてもスマートフォン（メディア）にばかり夢中になっている親の姿は、子どもからどのようにみえているのでしょう？想像してみてください。
　子どもにとって一番身近で自分を大切にしてくれるはずの親が自分に関心を向けていないということは、子どもの『自己肯定感』を下げてしまっているのです。

＜参考＞　令和２年度青少年のｲﾝﾀｰﾈｯﾄ利用環境実態調査（内閣府）
　　　　　子育てアドバイスブック　～ひよこ・クローバー～